



令和7年度 一般選抜入学試験 個別学力試験 出題意図

(英語)

前期日程

大問 I

・ 出題意図

「大学で何を学ぶのか」というテーマについて書かれた文章からの出題でした。さまざまな学びの内容に関して、文法の理解度、文章の流れを論理的に理解する能力、書かれている情報を正確かつ的確に把握する能力などを問う問題でした。

・ 講評

問1 大学は「誰かに教えてもらう」という受動的な場ではなく、「自ら学ぶ」という能動的な場であるという文脈を踏まえたうえで、文の意味を正確に述べることを問う問題でした。**This** が指す内容についてはだいたい理解できているようでしたが、日本語としてうまく表現できていない解答が目立ちました。

問2 **the other way around** という表現の意味がわかり、それが文脈ではどのようなことを指しているのか、またその主張の根拠が何かを理解できているかを問う問題でした。上に述べた表現を理解できていないと思われる解答が少なくありませんでした。

問3 解答 (あ) (G) (い) (C) (う) (E)

本文で述べられている内容を図示し、空欄に適切な語句を選んで入れることができるかを問う問題でした。(あ) はよくできていましたが、(い) と (う) の正答率はあまり高くありませんでした。

問4 解答 (エ) (ケ)

文法の習熟度を問う問題でした。具体的には、主語と述部動詞が離れている文において、この両者を結びつけることができるか、および動詞の用法(態)を理解できているかを問う問題でした。正答率はあまり高くありませんでした。

問5 解答 2番目(E) 4番目(F) 6番目(A)

与えられた選択肢をどのように並べ替えれば、この文章の意味を正確に表せるのかを問う問題でした。低い正答率でした。

問 6 解答 (D) (E)

選択肢で言及していることが、本文のどこで述べられているかを見つけ、その正誤を判断することができるかを問う問題でした。高い正答率でした。

大問 II

・ 出題意図

睡眠の研究をしている著者が、睡眠不足が健康や生活に悪影響を与えるにもかかわらず、睡眠については説明されていないことが多いことを述べた文章からの出題でした。個々の文の意味を前後の文脈も考慮しながら論理的に理解する能力、各パラグラフの概要やパラグラフとパラグラフのつながりを理解する能力、および述べられている情報を簡潔に要約する能力を問う問題でした。

・ 講評

問 1 下線部前後の文章の流れを把握し、**this mind-set** が指す内容を正確に理解し、かつ構文（「命令文, **and**…」）にも注意しつつ自然な日本語に訳すことができるかを問う問題でした。比較的良好にできていましたが、**this mind-set** が指す内容を理解できていない解答や構文自体を知らないと思われる解答、また、比較級については、何と何を比較しているのかを正確に把握しないまま訳していると思われる解答が一定数見られました。

問 2 各パラグラフの概要やパラグラフ同士のつながりに注意を払ったうえで、述べられている情報を整理して理解し、簡潔に要約する力を問う問題でした。下線部の疑問に対する答えの具体的な根拠は下線部が引かれたパラグラフと次のパラグラフで示されています。それぞれの箇所を取り違えた解答はほとんどありませんでしたが、内容を正確に理解できていない解答や語彙力不足を感じさせる解答が散見されました。

問 3 解答 ①(C) ②(A) ③(B)

各パラグラフの概要を正確に理解できるかを問う問題でした。出題したパラグラフは、最初の文でトピックが示され、続く部分でトピックに密接に関連する情報が提示され、最後にまとめの文がくるという英語のパラグラフとして典型的な構成になっています。こうした構成になっていることを踏まえつつ、文と文のつながりを意識しながら情報を整理して理解する能力を問う問題でした。

問 4 解答 (2)(A) (4)(C)

前後の文脈を考慮して下線部の意味を論理的に理解する能力を問う問題でした。

問 5 解答 (ア) (B) (イ) (C) (ウ) (C) (エ) (B)

語彙力を問う問題でした。英語の運用能力を高めるうえで、豊かな語彙力は不可欠です。単語の構成要素（接頭辞、語根、接尾辞）に関する知識も必要です。また、前後の内容からその単語の意味を推測する力も養っておくとよいでしょう。

大問Ⅲ

・出題意図

オーバーツーリズムに関する教員と学生の会話を題材に、語彙力を問うとともに会話のトピックに関して自分の考えやその根拠を明確に述べることを問いました。

・講評

1) 解答 ①(C) ②(A) ③(B) ④(B)

会話の流れを踏まえて単語の意味を理解できるかを問いました。

2) オーバーツーリズムの対処方法について自分の意見やその根拠を述べることを問いました。解答の多くは、法律を制定して観光客に税金を課すことを対処方法にあげていましたが、その際に「法律」の law を low と綴ってしまった解答が散見されました。また、対処方法を述べるのみで、その根拠を書いていない解答もみられました。

大問Ⅳ

・出題意図

「対話」に関する文章を題材として英作文に必要な文法、構文の知識、英語の表現力を問う問題でした。とりわけ英語の表現力については、与えられた日本語の意味を理解したうえで、必要に応じて言い換えを行いながら、適切に英語で表現できるかを問いました。

・講評

問 1 解答 ①(D) ②(A) ③(I)

下線部の日本語と問題で示されている英語を対照すると、「道筋」と「～の温床」に当たる部分を並べ替えて作文をすればいいことに気づきます。line of reasoning や the breeding ground in which という表現に気づくことができるかどうかポイントです。かなり低い正答率でした。

問 2 「すなわち」という論理展開を表す表現、「～という光景」という名詞表現、「論破(された)」や「もてはやされ」といった表現を訳すことができたかがポイントです。低い正答率でした。「論破」を正しく訳すことができた答案は少なく、ronpa と書いた解答も散見されました。また、「主張や批判」や「反論」の訳においては、動詞と名詞を混同した解答も多かったです。

問 3 解答 ①(H) ②(J) ③(A)

下線部の日本語と問題で示されている英語を対照すると、「噛んで」と「何が悪いのだろう」の部分と並べ替えて作文すればいいことに気づきます。failing to speak (smoothly) という動名詞表現や what is wrong with という表現に気づくことができるかどうかポイントです。正答率は高くありませんでした。

後期日程

大問 I

・ 出題意図

現代においてたびたび唱えられている陰謀論を題材に、その本質や発生過程を論じた文章からの出題でした。前後の文脈を踏まえつつ文を正確に訳したり、文の意味を自分の言葉で的確に説明したりすることができるか、文章全体の意味を把握できるか、および基本的な文法知識があるかなどを問う問題でした。

・ 講評

問 1 パラグラフ冒頭の文の意味を、その後に書いてあることを踏まえて説明できるかを問う問題でした。ここでは従来の研究と **rumor psychology** の視点をを用いた研究との対照が重要になりますが、前者の研究だけに言及して、後者の研究の意義を説明していない解答が散見されました。

問 2 解答 3 番目(F) 5 番目(E) 7 番目(B)

「どのような状況で集団は…をしはじめるのか」という意味の文になることを理解し、与えられた語句を使ってそれを正しい英文にできるかを問う問題でした。低い正答率でした。

問 3 文中の語句の意味を、その前後に述べてあることを手掛かりにして説明する問題でした。**the gaps** とはどのようなことで、それを噂で **fill in** するとはどういうことが理解できているかを問いました。よくできていました。

問 4 正確な日本語に訳出する問題でした。**The urge to protect ourselves immediately** が有する 3 つの特質を自然な日本語として表現できるかを問いました。比較的よくできていましたが、これらの特質を明確に訳し分けていない解答も見られました。

問 5 パラグラフ最後の文の意味を、それまで述べられてきたことを踏まえたうえで説明する問題でした。陰謀論がもたらす役割とはどのようなことかを理解できているかを問いました。それが **to “see” ~president** と **to neutralize~him** の 2 つであることをわかっていない解答や、わかっていたとしてもそれぞれをうまく説明できていない解答が散見されました。

問 6 解答 (C) (D)

本文で述べられていることを正確に理解できているかを問う問題でした。本文と選択肢を対照し、パラフレーズされた正しい選択肢を選ぶことができるかを問いました。比較的よくできていました。

大問Ⅱ

・出題意図

現在の日本だけでなく、世界における社会問題でもある少子化に関する文章からの出題でした。英文を読解する際には、その表面的な意味だけでなく、背景にある前提を踏まえながら議論の流れを理解することが重要になります。そのため、文法の習熟度、論理的な流れを把握する能力、および述べられている情報を正確に理解する能力を問いました。

・講評

問 1 解答 (C)

文章の大意を把握し、それに適合するサブタイトルを選ぶ問題でした。文章を素早く読み、その主旨を理解できるかを問いました。正答率はあまり高くありませんでした。

問 2 解答 (a) (B) (b) (A) (c) (D) (d) (C)

語彙力を問う問題でした。英語の運用能力を高めるうえで、豊かな語彙力は欠かせません。また単語がわからなかった場合、前後の内容から推測することも大切です。比較的よくできていましたが、(c) の誤答が目立ちました。

問 3 文章中の情報を正確に把握し、それを的確に表現することができるかを問う問題でした。下線部は直前に出てくる **myopia** という表現を通じて筆者が最も伝えたいことを述べています。比較的よくできていました。

問 4 複数のパラグラフで提示されている情報を把握したうえで、それぞれを的確かつ簡潔に要約できるかを問う問題でした。ほとんどはそれぞれの該当箇所を理解して解答していましたが、ひとつの段落の内容のみを記述した解答も見られました。

問 5 筆者の主張を的確に把握し、説明することができるかを問う問題でした。解答のなかには、「人口増加を抑えるべきだ」と筆者の主張とはまったく逆の解釈をしてしまったものが見られました。

問 6 解答 (A)

文章全体の大意を把握し、その主旨を理解できているかを問う問題でした。比較的よくできていました。

大問Ⅲ

・出題意図

ジェンダー平等社会に関する文章を題材として英作文に必要な文法、構文の知識、英語の表現力を問う問題でした。

・講評

問 1 与えられた日本語の文の意味を理解したうえで、必要に応じて解釈を加えつつ、自

分の語彙を用いて適切に英語で表現できるかを問う問題でした。「～を・・・にする」という表現や、「～から・・・へ」という表現を適切に訳せるかもポイントです。「ジェンダー平等をめざす動き」は正しく訳せている解答が多かったものの、色のたとえを用いて訳す部分は難しかったようです。

問2 解答 ①(B) ②(F) ③(A)

下線部の日本語と問題で示されている英語をみると、「社会的にハンディキャップを背負った人への社会的支援が」の部分と「準備される」の部分について、選択肢を並べ替えて作文すればよいことに気づきます。このうち、前者のなかで出てくる「支援」という語に対して人を指す **assistant** を選択した解答が多数でした。なお、ここから出てくる「〇〇への支援」という表現をする際、〇〇の前置詞としては **for** が使われます。さらに、ここでは **those who** という表現を使えるかどうかポイントです。

問3 与えられた指示に対して、自分の考えを英語で的確に表現できるかを問う問題でした。解答においては多様な意見が示されており、それぞれが自分の意見をうまく表現していました。

○志願者へのメッセージ

本学の長文問題の最近の出題傾向は、分量は比較的多いものの、内容的には読みやすいものになっています。つまり、専門性や抽象度の高い問題は少なくなっており、標準的な語彙力があれば内容を理解できるレベルの文章が選ばれています。そこで、一定量の英文をできるだけ多く、あまり細かなことは気にせずに、全体の内容をつかむという訓練が推奨されます。そして、同時に、細かな点にも注意して正確に読み、理解するという訓練も必要です。

「なんとなくわかった」というのと、正確に読み解くこととは違います。もちろん、一文一文を訳していく必要はないでしょうが、英文の内容を自分のことばでまとめてみたり、少し難しそうな英文はしっかりと日本語に訳してみるという癖をつけることも必要でしょう。

いわゆる四技能を重視する英語教育の結果、英語によるコミュニケーション能力は以前に比べて伸びてきているのかもしれませんが、しかし、外国語である英語で書かれた文章を正確に読み、自分の考えを正しい英語で論理的に表現するという点もおろそかにしてはいけません。今回、答案を見ていて、内容説明や要約問題でそれを表現する「国語力」に問題があるのではないかと強く感じました。英文の内容、そして問題のポイントをつかむことができても、答案を適切に作成するための表現力が十分でなければ得点につながりません。過不足なく答案を書くという技術は、たとえ母語であっても簡単ではありません。日頃の訓練がものをいいます。要は、母語であれ、外国語であれ、ことばを大切にする読み方、書き方ができるかという点を十分に訓練してほしいと思います。

ことばによる表現には、丁寧に書く、誤字脱字をしない(英語であればスペルミスをしない)など基本的な注意事項の他に、文法・論理・修辞という点があります。英語作文の場合

は、修辞(レトリック)という点は受験者には要求されないにしても、文法的ミスをしないことや(たとえば、主語が三人称単数で現在時制の際は動詞に s をつけるといった初歩的な点)、論理的な展開にも注意してほしいと思います。そのためにも、英語以前の問題として、ふだんから日本語による表現をする際にも、こういった点を十分に注意してほしいと思います。